

OCD-100

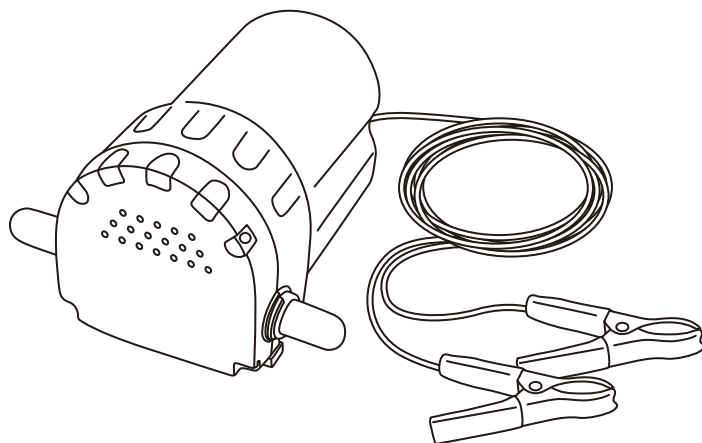
オイルチェンジャー

取扱説明書

生産物賠償責任(PL)保険付

この度は、オイルチェンジャー OCD-100をお買い求めいただきましてありがとうございます。
この「取扱説明書」は、OCD-100を安全にご使用いただく為のガイドブックです。
弊社製オイルチェンジャーを初めてお使いいただく方はもちろん、すでにご使用された経験をお持ちの方にも、知識や経験を再確認する上でお役に立つものと考えております。
この「取扱説明書」を最後までよくお読みになり、内容をご理解した上で正しくご使用くださいますようお願い致します。又、常にこの「取扱説明書」をお手元に置いて使用することをおすすめ致します。

※記載されているイラストはイメージです。



もくじ

①安全に関するご注意	P.1
②使用用途	P.2
③特徴	P.2
④各部の名称	P.2
⑤オイル交換手順	P.3～5
⑥お手入れ方法と保管方法	P.6
⑦吸引力が低下した時の処置	P.6
⑧製品仕様	P.6
⑨保証規定／保証書	P.7

① 安全に関するご注意 ※本製品を安全に正しくお使いいただく為に必ずお守りください。

- ご使用前に取扱説明書(本書)をよくお読みの上、正しくお使いください。
- お読みになった後は、本製品のそばなどいつも手元に置きご活用ください。
- お買い上げいただいた製品の本体表示及び取扱説明書には、使用者や他の人々への危害や財産への損害を未然に防ぎ、本製品を安全にお使いいただく為に、守っていただきたい事項を表示しています。

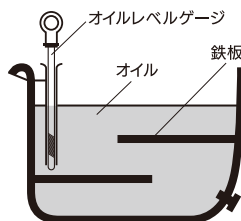
⚠注意

重要

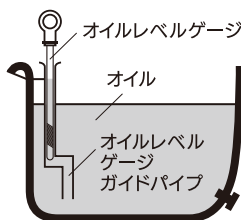
この表示を無視して誤った取り扱いをすると、人が傷害を負う可能性が想定される内容、及び物的(車両等)損害の発生が想定される内容を示しています。

- 用途以外のご使用はしないでください。
- 使用電源電圧は、DC12Vバッテリー専用です。
- ガソリン、アルコール、シンナー等の引火性の高いものを吸引、排出に使用しないでください。爆発、火災等の原因となり危険です。
- 本製品はガソリンエンジン専用です。ディーゼルエンジン、オートバイ・船舶用エンジン、デフ、ミッションやATF等には使用しないでください。
- 水を吸引したり、エンジンオイル以外のものに使用しないでください。
- オイル交換作業は、エンジン停止の状態で行ってください。交換中に誤ってエンジンを始動すると、差し込んだ吸引ホースが切断され、故障やトラブルの原因となります。
- 走行直後のオイル交換はしないでください。オイルが高温になっている為、吸引ホースが溶けたり、切れる原因になります。又、エンジンルーム内が高温となっていますので火傷の原因となる恐れがあります。
- 吸引ホースは、必要以上に入れないでください。無理に入れると、切れたり抜けなくなることがあります。
- 使用中は本製品から離れないでください。事故や故障になる恐れがあります。
- 1回の連続使用は、15分をこえないようにしてください。モーターが過熱し、故障、事故の原因となります。
- 使用中は本体が振動しますので、振動しても落ちないように安定した場所を確保して作業をしてください。
- ご使用後は、ホース類に異物が入らないように保管してください。
- オイルレベルゲージガイドパイプの形状や大きさを確認してください。付属の吸引ホースは約φ5mmです。オイルレベルゲージガイドパイプがφ5mm以下の車種には使用できません。
- 付属しているホース以外は使用しないでください。
- 本製品運転開始後吸引されない、又は吸引が悪い場合は、本体吸引ノズルより約10～12cc程度のオイルを注入してください。
- 使用中・使用後はホース等に付着したオイルで衣服等が汚れる恐れがあります。十分注意し作業してください。
- 本製品作動中及び新しいエンジンオイルを給油するまで、エンジンは始動しないでください。けがや火傷、エンジンの焼きつき、本製品の故障の原因となり危険です。

- オイルパンの形状が二重構造になっている車種はホースが底まで入らない為オイルを完全に抜き取ることができません。オイルパンの形状が分からない場合は、お車の取扱説明書又はお買い求めのカーディーラー等でご確認ください。



- オイルレベルゲージガイドパイプがL型になっているエンジンには、使用することができません。無理に入れると、抜けなくなり故障の原因となります。



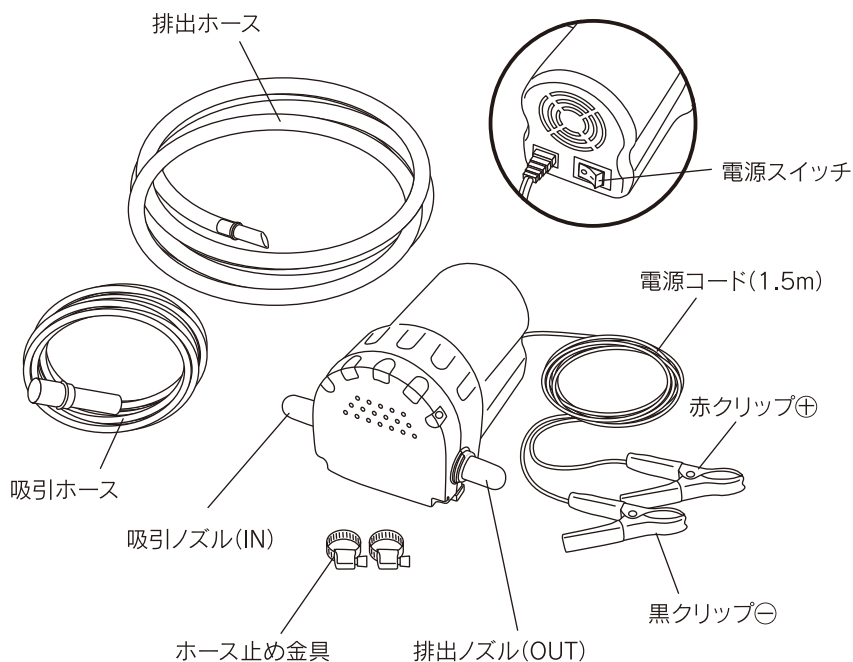
② 使用用途

本製品を使用して、ガソリンエンジンの自動車や田植機等のエンジンオイルを簡単に交換するものです。

③ 特徴

オイルレベルゲージガイドパイプ(田植機等はオイル注入口)を利用して、エンジンオイルを抜き取ります。
リフトアップが不要なので作業も簡単。
オイルパンにたまったスラッジが抜き取れます。
交換時間も大幅短縮。しかも自分のできるので経済的です。

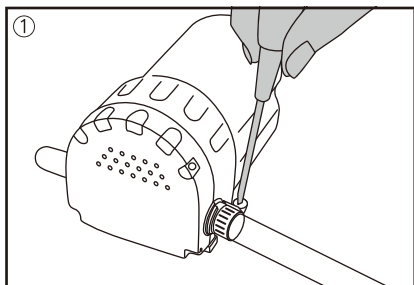
④ 各部の名称



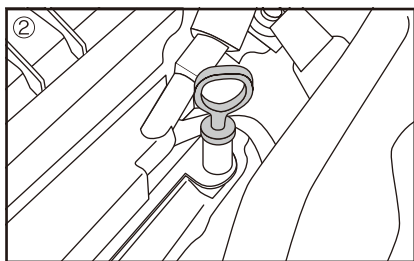
⑤ オイル交換手順

エンジンを約5～10分程度暖機運転します。
冬期や寒冷地ではしばらく走行されるか、約10～15分程度暖機運転してください。

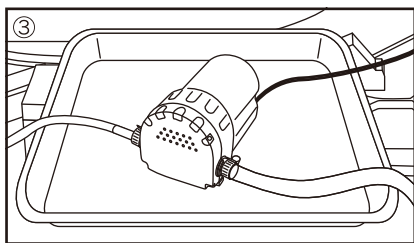
■ 準備



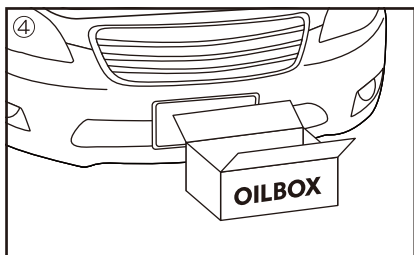
- ① 本製品の排出ノズルに排出ホースを差し込み、
付属のホース止め金具で固定する。
同様に吸引ホースも取り付ける。



- ② エンジンルーム内の
オイルレベルゲージの場所を確認する。

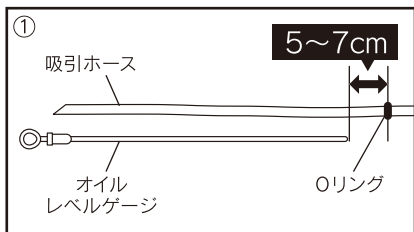


- ③ エンジンルーム内に
本製品を置く場所を確保する。
※できるだけ水平で安定した場所に設置してください。

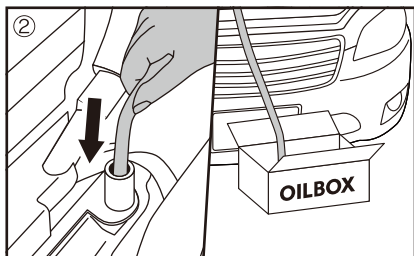


- ④ 排出オイルを受ける容器を
置く場所を確保する。
※オイル受けや市販のオイル処理ボックス等が便利です。

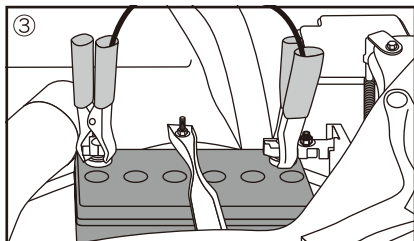
■ 設置



- ① 吸引ホースをオイルレベルゲージに合わせ、オイルレベルゲージの金属部の長さより+5~7cmの位置にOリングを設置する。

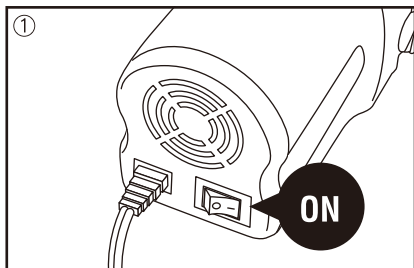


- ② 本製品を設置し、吸引ホースをオイルレベルゲージガイドパイプへ、排出ホースをオイル受けへ設置する。



- ③ 本製品のスイッチが「OFF」であることを確認し、電源コードの赤クリップをバッテリーの⊕端子に、黒クリップをバッテリーの⊖端子に接続する。

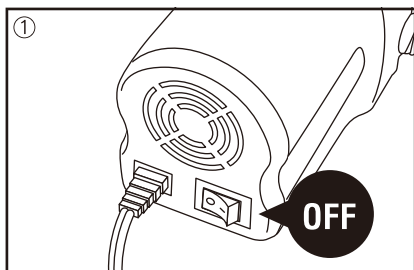
■ 運転



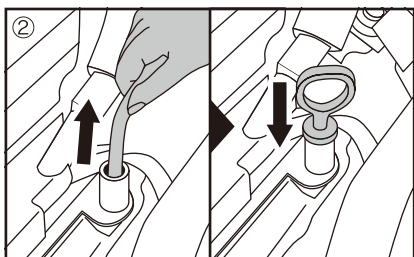
- ① 本製品やホース等が振動により動かないことを確認し、スイッチを「ON」にする。

※運転が開始し、約300cc/分で排出されます。
※粘度により異なります。

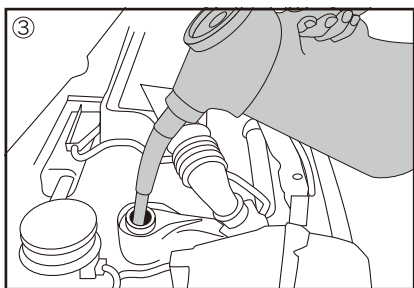
■片付け



①排出が終わったらスイッチを「OFF」にし、バッテリーから電源コードをはずす。



②吸引・排出ホースを抜き、本製品をエンジンルームから撤去する。オイルレベルゲージを元に戻す。



③オイル注入口より新しいエンジンオイルを規定量まで給油する。
※オイルレベルゲージで確認してください。



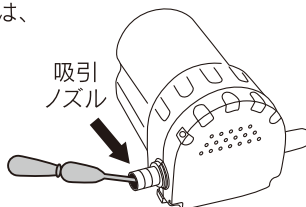
④排出した廃オイルを所定の方法で処理する。
※オイル受けや市販のオイル処理ボックス等が便利です。

⑥ お手入れ方法と保管方法

- 吸引・排出ホースに付着したオイルを拭き取ってください。
- 使用後はビニール袋等に入れて、ホコリや水、直射日光を避けて保管してください。

⑦ 吸引力が低下した時の処置

- 本製品始動時、オイルの吸い上げが悪い時は、電源スイッチをOFFにして吸引ホースを一旦抜き取り、ホース内のオイルを本体に流し込んでください。
- 空回し運転等によって吸引力が低下した時は、本製品の吸引ノズルからスポイト等でオイルを少量(約10～12cc程)注入してください。



⑧ 製品仕様

入力電圧	DC12V
動力電流	6A
吐出量	300cc/分(オイル温度30℃の場合)※粘度により異なります。
使用温度範囲	0℃～40℃
吸引ホース	約φ5mm(外径)×1.2m
排出ホース	約φ14mm(外径)×1.5m
電源コード	1.5m(バッテリークリップ)
モーターポンプ	ロータリーポンプ
本体サイズ	約136(W)×85(H)×134(D)mm
重さ	約870g